

平成27年成人式を挙げるにあたり一言「ご挨拶申し上げます。ご成人、誠にありがとうございます。そして、皆さんを愛情深く立派に育て上げられました。ご両親をはじめ、ご家族の皆様方に対し、敬意と感謝の念を表したいと存じます。ありがとうございます。また来賓の皆様におかれましては、公私共に「ご多忙の中、ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。



川根本町長 鈴木敏夫

ていく必要があると思っております。町においては、雇用対策を含めた若者の定住対策、次代を担う子どもたちの育成、高齢となっても安心して生活できる環境づくりなどの安定した住民生活の実現に加え、農業の振興、森林の再生・創生、観光事業の充実などに努めているところであります。

さて、成人となりました皆さんは本日、晴れて大人の仲間入りをされ、法的にも権利や義務を与えられ、大きな「人生の節目」を迎えられました。また社会の一員として、地域社会や国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという重い責任が生じて参ります。これらのことを自覚し、自らの判断と責任により行動するといったことが求められることとなります。

川根本町も、少子高齢化や厳しい社会情勢の中で、行政、住民がそれぞれの役割を担うとともに協働連帯の精神のもと、「水と森の番人が創る癒しの里川根本町」豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれでもが安心して暮らせるふさわしい「の実現に向けて更なる努力をし

将来の自分を思い描き、夢に向かって頑張りたい。

皆さんは、成人になりましたが、これから一日一日を大切に積み重ね、自分の夢に向かって努力し、10年後・20年後の自分はこうなりたいのかを思い描いて進んでください。その道のりは、決して平坦ではありません。しかし、本日、この町で成人式を迎えられた皆さんにとって、共通の思い出を持つかけがえない仲間がいるこの川根本町は、皆さんのふるさとです。このことを忘れな



町の将来のため、少子高齢化や過疎化の現実と向き合いたい。

するこの問題を、私たち若者が具体的に考えていくときだと感じています。

私たちはこれまで両親や地域社会の保護のもとに過ごしてきましたが、今日からは一人一人、大人としての第一歩を踏み出し、社会の一員として責任ある行動をとっていかなくてはなりません。しかし、未知の世界に対する不安がないと言ったら嘘になります。そんな私たちに皆様方から頂きました励ましのお言葉は何よりの力づけとなりました。

私たちも新たな人生を生き抜こうとする決意は持っていますが、なんといつてもまだまだ未熟者です。困難にぶつかりくじけることもあるかもしれませんが、この川根本町で育ち、学んだ事を誇りとし、力強く生きていこうと思えます。

本日は、誠にありがとうございます。この感激を、今後の私たちの人生に生かすことをお誓いし、新成人一同を代表しての謝辞といたします。

謝辞

小平倫敬さん(久保尾区)

Michitaka
Kodaira

祝成人

自分の夢に向かって
頑張ってください。
川根本町はいつも
皆さんを応援しています。

